



学校だより

平成30年度 1月号

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

新年、明けましておめでとうございます。

亥年の幕開けです。「猪突猛進」とはいい言葉です。この一年間、より高い目標を掲げて突き進む和附特になれるよう、子どもと教師が「グルになって」楽しい学校を創っていきたいと思っています。

「グルになる」ために欠かせないものの一つとして言葉があると思います。

みなさんは、「ふわちく言葉」というのをご存知でしょうか。これは、「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」を合わせたものです。

では、「ふわふわ言葉」ってどんな言葉でしょうか。この言葉は、「いつもありがとう。いつも助かってるよ。いっしょにがんばろう。さすが〇〇さんだね。その気持ち、分かるよ。大丈夫？ どうしたの？ 体に気をつけてね。・・・」など、それを言われると気持ちが温かくなり、うれしい気持ちに包まれる言葉です。

逆に「ちくちく言葉」は？ もう想像されたと思いますが「うざい、ムカつく、うるせーな、ふざけるな、あっちいけ、ドンくさい・・・」など、それを言われると気持ちが殺伐とし、心が傷ついてしまう言葉です。

これらの例にみられるように、私たちが遣う言葉は人の心を温かくするときもあれば、逆に傷つけてしまうときもあります。心の傷は目で見ることはできません。心で感じるものが求められます。こうした感性は、上の「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」のどちらから生まれるでしょうか。当然「ふわふわ言葉」ですよ。つまり、普段から「ふわふわ言葉」をたくさん遣っていると、相手の心を和らげるだけでなく、自分自身の心を優しくする働きもあると思います。

先日、出張帰りの電車の中の出来事です。座席に座ってふと視線を上げると、向かいの扉の前に女性の方が窓の方を向いて立っておられました。始めは何も気づかなかったのですが、その方がこちらを振り返ったとき、手に白い杖を持っておられるのが見えました。すぐに声をかけると「いいんですか？ ありがとうございます」とお礼を言われたのですが、私は気づくのが遅れたことに「すみません」と謝りました。些細なことですが、普段から感度の高いアンテナを立て、身の回りに気を配ることの必要性を改めて感じさせられた一コマでした。

今年一年、子どもたちとともに「ふわふわ言葉」に溢れる和附特でありたいと思っています。保護者・地域の皆さまには、大変ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、ご理解とご協力を頂戴できますことを心からお願い申し上げます。

校長 林 修

◆保護者へのお知らせ

- ・26日（土）に、研究発表会を開催します。下校時刻は早くなりますが、ご理解とご協力をお願いします。保護者の方には、講演会のみ参加いただけます。ご希望の方は学校までご連絡ください。

◆1月の行事予定

8（火）始業式 13：30 下校	23（水）入学予定者説明会・制服採寸
10（木）新年の会（中学部）	26（土）研究発表会（下校時刻変更）
18（金）漢字能力検定（高等部希望者）	28（月）振替休業
21（月）全校集会 療育手帳更新（対象者）	31（木）熊野古道ウォーク（高等部Sコース）



◆1月の保健行事

身長・体重測定・・・8日（火）高等部Fコース、9日（水）高等部Sコース、11日（金）小中学部

◆1月の育友会

15日（火）臨時総会 21日（月）役員会 29日（火）保体部会 30日（水）進路学習会

◆1月の同窓会・ふよう会（卒業生・卒業生保護者の会）

6日（日）ふよう会成人式

